

会 議 録

会議の名称		令和7年度第3回竹園学園コミュニティ・スクール(CS)協議会		
開催日時		令和8年2月24日(火) 開会 10:00 閉会 11:40		
開催場所		つくば市立竹園西小学校C A I室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	菊地 智之、谷池 真彦、結束 由美子、三橋 俊雄、田中 大介 中嶋 信美、古久保 みどり、太田 敬、倉田 廣之、鷺田 美加 櫻井 勝、稲垣 和希、高橋 研太、鈴木 敏一、篠田 さゆり 竹園東中学校：校長 岡田 太郎、教頭 大和田 哲也 教務主任 鈴木 優庸 竹園東小学校：校長 山田 仁巳、教頭 赤羽 岳彦、釜田 重徳 竹園西小学校：校長 田中 真樹子、副校長 内藤 雅巳 教務主任 湯浅 泰隆		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課：社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課：社会教育指導員 古屋仲 純子		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	2人
非公開の場合はその理由				
議題		「今年度のコミュニティ・スクール協議会の活動の振り返りと次年度の活動について」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 会長・学園長挨拶 3 前回の議事の確認 4 協議 (1) 次年度のグランドデザインについて(承認) (2) 学校評価アンケート結果(学園共通項目)について (3) 熟議 「今年度のコミュニティ・スクール協議会の活動の振り返りと次年度の活動について」 (4) その他 1) 家庭教育学級事業報告 2) 次年度のコミュニティ・スクール協議会について 5 閉会			

1 開会

2 会長・学園長挨拶

鈴木会長：インフルエンザ流行と年度末の重要時期に触れつつ、今年度最後の協議会として忌憚のない意見交換をお願いします。

学園長：学級閉鎖もなく入試を迎えられたことへの地域・保護者の協力に感謝しています。本協議会は「児童生徒を中心に、よりよい成長のために各立場で何ができるかを考える場」であり、来年度に向けた意見を反映したい。

3 前回の議事の確認

鈴木会長より第1回・第2回協議会の議事について概要説明があった。

4 協議

(1) 次年度のグランドデザインについて（承認）

学園長：つくば市のキーワード「子供たちの幸せ」を踏まえ、「一人ひとりが幸せな人生を送るために」を掲げ、さらに県の方針を踏まえ「竹園から世界へ羽ばたく児童生徒の育成」とした。加えて新たに「新たな価値を生み出す児童生徒」を追加し、多様な価値観の中で議論し最適解を見出す力の育成を目指したい。なお、校長の交代等によりグランドデザインも変わるとは思いますがいよいよお願いしたい。

質疑・応答

田中委員：校長交代等でグランドデザインが変わるとCSの存在意義が問われるのではないかと。

学園長：県や市の方針により微調整はあり得るが、基本的にはCSで決めた方向性は尊重される。

三橋委員：「社会力（心豊かにかかわりあう）」の具体像について教えてほしい。

学園長：周囲と協力して考える「心の協力」として理解してほしい。

グランドデザインは拍手により承認された。

(2) 学校評価アンケート結果（学園共通項目について）

釜田委員：1月にFormsで実施し、児童生徒1872名、保護者960名、教員111名、回答率約90%。主な傾向として、

挨拶：児童生徒と保護者・教職員の認識に乖離が見られる。

地域行事：回答に差があり参加機会の不足が要因の可能性はある。

満足度：全体的に高水準である。

小中一貫：保護者と教職員の認識差が見られる。

資源・人材活用：保護者は前向き評価をしている。

授業づくり：教員の意識は高い。

と報告した。

質疑・応答

三橋委員：資源と人材を分けて設問すべきであり、CS自体も地域資源・人材を整理する必要があるのではないか。

倉田委員：挨拶に関する認識差の原因分析と校内コミュニケーションを強化すべきだと思う。

田中委員：アンケートは設問の設計次第で結果が大きく変わるため、良い結果を誘導するような形式は避けるべきである。次回までに、CS（顧客満足度）向上にも活用できる適切な設問形式を検討し、積極的に活用していくべきではないか。

鷲田委員：挨拶の対象認識の違い（児童は顔見知り中心）が乖離の要因ではないか。校内外のコミュニケーションが重要となってくるのではないか。

(3) 熟議：今年度のCS協議会の活動の振り返りと次年度の活動について各学校の関係者に分かれて30分程度議論した。

各校からの発表

竹園東中：地域人材・資源の掘り下げが不足し、CSの認知も不十分であった。子どもまつり参加、ゴミ拾い、調理活動など人が集まる機会創出を検討したい。

竹園東小：人材と学校の連携は一部進んでいるが個人の努力に依存していて、継続性に課題がある。CSの存在を地域へより発信する必要がある。

竹園西小：人材リスト作成は進まず、サポーター制度は保護者中心に偏っている。活動範囲拡大とCSのアピールが必要である。児童による広報やチラシ配布、窓口設置、QRコード配布を試行し、2月に2件の登録依頼があった。

(4) その他

1) 家庭教育学級事業報告

中嶋委員：令和7年12月3日に竹園交流センターで講演会を実施した。（参加51名、うち34名ライブ配信）アンケートは全員が肯定的評価であり、成果と課題の整理を終えている。次年度も継続し、開催時期の前倒しを検討したい。

・CSコーディネーターからの報告と提案

中嶋委員：LINEグループ（登録30名）を活用しているが、学校の要望が十分把握できていないため、教職員向けGoogleフォームで要望収集を開始し、複数の依頼が寄せられていると説明した。さらに、CSの認知不足を踏まえ、ポスター掲示やQRコードによる地域人材募集などの周知方法を提案した。

拍手により承認

以下自由討議をおこなった。

・CSの地域定着に関する課題と改善策

田中委員：議論が実行に結びつかず学校任せになり、教員負担増につながる心配があるのではないか。委員が受動的で、活動共有の仕組みが不足している。

事務局：年数回の協議会だけでは具体化が難しいため、小規模な打合せを別途設けテーマを絞ることが有効である。

・人材バンク構想と地域参加の拡大

田中委員：具体的取組として人材バンクの整備をすると良いのではないかと。

中嶋委員：学校経由ではPTA中心となるため、地域向け配布資料と登録フォームを作成し、直接登録してもらう方法が有効だと思う。学校負担軽減の観点からも地域主体の募集が望ましい。

・活動の進め方（スピード感・実践重視）

田中委員：学校カリキュラムは早期に決まるため、中長期計画とスピード感ある取組が必要ではないかと。

稲垣委員：地域資源活用は有意義だが関わり方が見えにくい課題がある。まずCS委員が実践事例を作り発信することで役割を可視化すべきである。学校単位の小規模実践から段階的に連携拡大する方法が現実的である。

三橋委員：来年度計画にCS主体の企画枠（例：防災クッキング等）を設け、実行グループを形成しCSだより等で周知する流れが良いのではないかと。

鈴木会長：各学校で事例を蓄積し、段階的に学園全体へ展開するようにしていきたい。

田中委員：成功事例を出前授業のように他校へ展開する方法が有効である。

2) 次年度のCS協議会について

事務局より、次年度委員手続き、アンケート協力、記録公開等の連絡があった。

5 閉会

令和7年度 第3回竹園学園コミュニティ・スクール協議会

日時： 令和8年2月24日（火）10時から

場所： 竹園西小学校 C A I 室（校舎1階）

次 第

1 開 会

2 会長・学園長挨拶

3 前回の議事の確認

4 協 議

- (1) 次年度の学園グランドデザインについて（承認）
- (2) 学校評価アンケート結果（学園共通項目）について
- (3) 熟議 テーマ

「今年度のコミュニティ・スクール協議会の活動の振り返りと次年度の活動について」

(4) その他

- ・家庭教育学級事業報告
- ・次年度のコミュニティ・スクール協議会について
（生涯学習推進課より）

5 閉 会

	(2) 家庭教育部会から報告 (3) CSコーディネーター活動報告 (4) 竹園子どもまつり案内報告 (5) 熟議 テーマ「竹園学園コミュニティ・スクールにおける地域人材の活用 ～効果的な地域学校協働活動に向けて」 (6) その他 コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について 5 閉会
--	---

<p><審議内容></p> <p>1 開会</p> <p>2 会長・学園長挨拶</p> <p>鈴木会長挨拶：先日、強風があり急激な天候変化がありました。大丈夫だったでしょうか。幼稚園では間もなく運動会があります。是非見学に来てください。</p> <p>書記選出：事務局推薦によりCSコーディネーターの中嶋信美委員が書記に選出された。</p> <p>岡田学園長挨拶：前回のCS協議会で土曜授業についての質問があったが、現在土曜授業を実施していない。別の形で地域の方の力を発揮できる体制を模索したい。アイデアがあれば出してほしい。全日本教育工学研究協議会全国大会がつくば市で実施される。竹園学園では公開授業を実施するので、委員の方々は是非見学してほしい。</p> <p>大和田委員：11月14日（金）の午前中に公開授業を実施する。見学を希望する方は各校の教頭へ御連絡ください。</p> <p>3 前回議事録確認をおこなった。</p> <p>4 協議</p> <p>(1) 竹園東小学校 若竹委員会（児童からの報告）</p> <p>・竹園東小学校のよいところ</p> <p>縦割り活動、ロング昼休み、石像、重要文化財のパソコン、1年生を迎える会、運動会、爽やかマナーアップ運動、芸術鑑賞会、おもいで集会などの行事。各行事について簡単な説明があった。</p> <p>・委員会活動</p> <p>若竹、企画（新規）、放送、図書、給食、運動、保健安全、美化、福祉、情報、IECについて説明があった。</p> <p>(2) 家庭教育部会から報告</p> <p>令和7年度 竹園学園 家庭教育学級を下記のとおり開催する。</p> <p>日 時：12月3日（水）13:30～15:00 開場 13:10</p> <p>場 所：竹園交流センター 1階 ホール</p> <p>内 容：子どもの成長に伴う関わり方について ～親と子が幸せになるXとYの法則～</p> <p>田村 節子氏（一般社団法人スクールセーフティネット・リサーチセンター代表）</p> <p>(3) CSコーディネーター活動報告</p>	
--	--

・CS だより第2号を区会へ回覧した。
・令和7年度つくば市コミュニティ・スクール（CS）委員等研修会参加報告
竹園学園から高橋研太、中嶋信美、長谷川聖修、三橋俊雄の4名が参加
日時：2025年8月23日（土） 9:00～11:50（受付 8:30）
場所：つくば市役所 本庁舎2階 会議室201
内容： 講話 「わたしたちが“できること、やるべきこと”ってなんだろう？」
東京都板橋区立板橋第十小学校 委員長 Magical Reading-Labo 代表 塚本忠行 氏

(4) 竹園子どもまつり案内報告

太田委員より、第41回竹園子どもまつりの開催案内があった。

(5) 熟議 「竹園学園コミュニティ・スクールにおける地域人材の活用～効果的な地域学校協働活動に向けて～」

昨年度第2回CS協議会で議論した3つの問題点（登下校中の安全確保、体験学習の受け入れ先、文化系クラブの指導者）について現状報告があった。

中嶋委員：登下校中の安全確保のため危険箇所マップと下校中の見守りの協力依頼の文書を区会へ回覧した。

田中（真）委員：体験学習の受け入れ先確保のためサポーター制度を立ち上げた。ペットボトルロケット製作の際にはJAXA職員が講師として来校した。

大和田委員：地域クラブ活動の指導者確保はつくば市の方で主体的に進めてくれている。運動部中心なので文化系人材発掘はまだ難しい。市内を5つに分けて拠点作りしている。エリア毎で発掘を目指すように方針が変わってきている。よい方がいいれば、大和田まで連絡してほしい。

後藤委員から質問があった、学校教師が担う3業務について赤羽委員から説明があった。

「竹園学園CSにおける地域人材の活用 効果的な地域学校協働活動に向けて」という議題について3班に分かれて熟議。その後議論のまとめを発表。

A班：学校が求める人材と地域にいる人材とすり合わせが必要。その後立ち位置を議論。データベースがないのでデータベースを整理する。CSのあり方を長期的な視点で深い議論をした。この場に児童・生徒がいるともっと違った議論になったかもしれない。

B班：子供が失敗を恐れるのをどうすればよいか。学校の先生以外の視点で子供と対話する必要があるのでは。そのための人材探しが課題。人材データベースがあるとよい。ライオンズクラブに企業の情報がある。つくば市全体で人材情報を収集する仕組みが必要だろう。

C班：CSの認知度が低いのではないか。CSの認知度を上げる必要がある。その他人材バンクについて議論した。CSの認知度を上げるためには、鷺田委員にお願いしてラジオつくばで取り上げてもらう。スクリーンでの周知。チラシを制作して地域の店舗に掲示などが考えられる。人材バンクについては、交流センターの講師など市の人材バンクの利用、広報紙での周知、ピンポイントでの募集。以上が考えられる。

(6) その他

三橋委員：企業で活躍している人、社会で成功している人だけを人材とすると範囲が狭すぎるのでは。もっといろいろな人がいることを子どもたちに見せることが大事。普段着の多様な人材をすることが「子どもたちの社会力」につながる。

篠田委員：11月1日(土)にたけぞのフェスタが竹園交流センター周辺で開催される。つくば市民ギャラリーで「ふでもじ」という筆ペンアートを10月に開催する。皆さん参加してください。

古久保委員：竹園学園のお祭りとして始めた「たけぞのフェスタ」が今年3回目です。何とか形になってきた。今後も皆さんの支援と参加をお願いします。竹園こども会議という会議をやっている。小学校4年生以上高校生までの児童生徒が集まって自由に議論する会議。今年最初の会議が参加者17名であった。まずは自由に話し合うことが大事と考えて開催している。

鈴木会長：密度の高い会議になってきた。CS会議の認知度が低い。過去にも人材バンクを作ったことがあるが時間がなくて依頼ができなかった。まずはピンポイントで依頼することでもよいだろう。たけぞのフェスタ、竹園こども会議、竹園こどもまつりについてはCSと密接に関わっていると思う。

次回予定：2月24日(火) 10:00～ 竹園西小学校

5 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。